

## 校園長室から



### 学校教育目標

#### 共に学び共に伸びる子ども

- ・いのちを大切にできる子ども
- ・だれとでも仲良く協力し合う子ども
- ・意欲をもち学習する子ども
- ・ねばり強くはたらく子ども

令和8年5月21日 第106号

#### セカイノミカタ

先日、教頭先生と出かけようと、タクシーを呼びました。万博の時に同行者がアプリでほいほいとやっていたのに習って、ほいほいとやりますと、あっという間に正門前にタクシー。行先も告げず色々話に夢中になっていると、目的地に到着。支払いも完了しているので、運転手さんには、ほとんど声もかけず降車。

大変便利でありがたいなあと感心していると、新聞に畏るべし記事が。

中国では、運転手のいない無人タクシーが一般的だとか。

おそらく日本でもそんな時代が遠くない気がします。

少し社会科のお話をしますと、世界史が苦手という高校生に、「まず、中国の歴史を勉強したらいい」と助言していました。中国史は、歴代の王朝がはっきりと変わっていきます。「殷・周・春秋戦国・秦・前漢・新・後漢・三国(魏・呉・蜀)・晋・南北朝・隋・唐・宋・元・明・清・中華民国・中華人民共和国」と変遷を遂げます。これを理解したうえで、日本や西洋、アラブでどんなことがあったかを見ていくと、世界の動きがよく見えてきます。

別に中国びいきではありませんが、世界の歴史は中国一強の歴史でした、産業革命までは。産業革命後、ヨーロッパが世界の覇権を握り、第一次二次の大戦で、アメリカの台頭。社会主義の崩壊でアメリカの覇権が確立し、20世紀が終わりました。そして、21世紀。世界はアメリカと復権した中国の二ヶ国が中心に変わってきています。これまでの世界の歴史にはない新しい局面だと思えます。

これから社会で活躍が期待されている若い人たちは、「今までにない」世界の見方をして、世界を味方につけてほしいなあ、と思えます。